

# 座長コラム「長岡の風」

第23回 2026年3月

## 「マインド」

長岡経済・産業連携会議（座長：高野裕）

### 賃上げアンケート

今日の会議で提出された「賃上げに関するアンケート調査」（第四北越リサーチ&コンサルティング）によると、2025年11月時点で来年度（2026年度）に賃上げを予定している企業は8割台半ばに上るといふ。たしかに昨年11月頃には、県内経営者の多くは、来年の賃上げも「いくらか上げなければならない」と考えていた。

### 決算書を見たら

昨春いつもより賃金をアップして支払ったときは、社長として誇らしく胸を張って支払いを行った。だが、1年経って決算書を見ると、だからと言って売り上げがアップしたわけではない。原材料の値上げで利益はダウン。若干の価格転嫁はできたが、それ以上に経費の値上がりが多い。賃金アップで法定福利費も増加して思いのほか人件費合計額はアップ。結局、決算書の最終利益はダウン。決算報告を聞くと、経営者はマインドが下がってしまう。

### 最近の状況

この状況で、今年も前年並みに賃上げなどと掛け声をかけられてもどうしたものかと考える。そこに連日の戦争報道、原油の値上がりの報道、ジワジワと経済の先行きが見えなくなってくる。経営者のマインドはなんとなく下がってくる。

### 売上には引力がある

中小企業の経営悪化のほとんどは、売上高の絶対量不足だ。いつもの顧客に、いつもの通りの営業を続け、いつもの通りの売上を維持しようとしているだけでは売上高はジワリジワリと下がる。売上高には引力のような力があって、いつもと同じだとだんだん下がってくる。売り上げアップを仕掛けて、やっと横ばいなのだ。常に何か企画して、売り上げアップの仕掛けを行わなければ企業は確実に衰退してゆく。

### 危機感

企業が成長するためのキーポイントは社長のマインドだ。社長が自社の経営に対する危機感を持つ、この「危機感」がものすごく大事。このままではダメだと認識して、次なるステップを意識して前方に大きな目標を持つ。これが非常に大切。社長のマインドを奮い立たせる何かのきっかけが必要なのだ。

### 革新的成長宣言

今日の会議で長岡市から「ながおか革新的成長宣言」という取り組みを行うと報告があった。これなどはまさに、長岡の中小企業者のマインドを奮い立たせるきっかけとなりうるものだ。そんなきっかけを活かして伸びて行って欲しいものだと考える。